資料１

４　基本方針及び令和７年度重点項目

１　基本方針

大分県立図書館は、社会教育法、図書館法並びに本県教育の基本施策を踏まえ、全ての県民の生涯にわたる多様な学びを支える知の拠点を目指して、大分県公文書館、大分県立先哲史料館と一体となって、「だれでも、いつでも、どこからでも」利用できる社会教育施設としての機能を果たさなければならない。

ＩＣＴの急速な進展などにより情報の取得方法が多様化する中、様々なニーズに応じて的確なサービスが提供できるよう「専門性」「多様性」「広域性」をコンセプトに、県内公共図書館・学校図書館、公民館のみならず、他の行政機関や民間団体とも連携を進めつつ、県民の人生を豊かにする図書館サービスの構築・提供を行う。

２　令和７年度重点項目

専門性

（知の拠点としての図書館）

県立ならではの資料収集・保存・提供の推進

- 専門的・学術的資料の積極的収集
- 郷土資料（デジタル資料を含む）の網羅的収集・保存と利活用の促進
- 今後5年間の収蔵スペース確保のための保存資料・書架配分の見直しの促進

読書環境におけるＤＸの推進

- 郷土資料のデジタル化の加速、県内関係機関との連携による[おおいたデジタル資料室]の充実・利用促進
- ホームページ、SNS（Facebook、X、Instagram）による情報発信の強化
- 利用者拡大に向けた電子書籍のコンテンツ拡充
- 図書館システム更新に向けてWebサービス強化などの検討

（仕事やくらしに役立つ図書館）

県民の調査研究・課題解決の支援

- 行政や民間団体等の多様な主体との効果的な連携による講座や企画展示、イベントの実施
- 研修の充実（計画的な実施、外部研修の積極的な受講）による司書の資質向上

多様性

（県民の生涯にわたる多様な学びを支える図書館）

多様な県民が利用できるサービスの充実

- バリアフリー資料等、アクセスしやすい資料の充実や機器の貸出などの促進
- 「バリアフリー図書セット」の貸出拡充による学校や市町村立図書館での読書バリアフリー図書常設に向けた支援

子どもが本に親しむ機会の充実

- 「子ども読書支援センター」の利用促進による子どもの読書活動を支える人材の育成・支援
- 不登校支援を行う機関や矯正施設等と連携した、様々な環境にある児童・生徒への読書活動支援
- 多言語絵本等の資料提供による日本語を母語としない子どもへの読書活動支援
- 手話のおはなし会・講習の開催など障がいを持つ子どもへの読書活動支援

広域性

（ネットワークの中核としての図書館）

県内図書館及び関係者への支援と連携

- 県内公共図書館の連携・協力体制の構築
- 協力貸出の利用促進や専門性の高い研修の開催などによる学校図書館への支援

（社会教育センターとしての機能を発揮する図書館）

社会教育の推進による多様な学びを支える環境づくり

- 公民館等における「やさしい日本語」講座未実施市町村への重点的な啓発と講座実施
- 社会教育や地域づくり関係者を対象とした研修の体系化
- 大学等と連携した社会教育に関する専門的・実践的な調査研究の実施
- 生涯学習情報のプラットフォームとしての「まなびの広場おおいた」の内容充実

資料2

大分県立図書館運営の状況に関する評価

（委員名）

○ 図書館法

第７条の３　図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

○ 評価の方法

各年度に定めた重点目標ごと評価指標を設定、年度終了後に指標ごと実績値について県立図書館が自己評価、図書館協議会委員が外部評価（委員意見）を行い、その結果をHPに掲載して公開する。

【自己評価（AからDの４段階）
A：非常に成果があがっている。
B：成果があがっている。
C：それほど成果があがっていない。
D：全く成果があがっていない。

○ 評価

（１） 県立ならではの資料収集・保存・提供の推進

評価指標

・全資料数（電子書籍を含む）

令和7年度実績	1,269,375	冊
令和6年度実績	1,257,987	冊
令和5年度実績	1,245,142	冊

自己評価	理　由
B	県立図書館としての蔵書構成を維持し、専門書を中心に約2.1万冊の幅広い資料収集に努めた。一般資料の購入における専門書購入割合は52.4%と前年度を2.8ポイント上回る水準を維持し、国庫補助金を活用して電子書籍やバリアフリー資料の充実を図った。電子書籍は、オーディオブックや音声読み上げ機能付きのものの収集を強化し、約800タイトルを収集した。また、収蔵スペースを確保するため、重複本など約1万冊の除籍を行った。さらに、電動書庫の一般資料約5万冊を書庫全体に移動・再配分し、スムーズに資料を収蔵できる体制を整えた。

委員意見

（２） 読書環境におけるＤＸの推進

評価指標

・デジタルアーカイブの資料閲覧数

令和7年度実績	20,731	件
令和6年度実績	8,744	件
令和5年度実績	5,469	件

自己評価	理　由
A	三館協同の「おおいたデジタル資料室」は、資料閲覧数が前年度から137.1%増加した。図書館では約800点の郷土資料を公開するとともに、県内市町村や資料館等の資料登録を行うなどコンテンツの充実に努めた。また、学習会や体験会の実施、SNSでの広報等により利用促進を図った。

委員意見

（３） 県民の調査研究・課題解決の支援

評価指標

・レファレンス件数

令和7年度実績	14,023	件
令和6年度実績	13,016	件
令和5年度実績	13,293	件

自己評価	理　由
A	調査相談カウンター、郷土情報カウンター、子ども室カウンターで受付したレファレンス件数は、前年度から7.7%増加した。特に郷土情報カウンターの受付件数は14.0%増加し、高い専門性を評価され、大分県に関する県外からのレファレンスも増えている。

委員意見

（４） 多様な県民が利用できるサービスの充実

評価指標

・入館者数

令和7年度実績	331,743	人
令和6年度実績	315,280	人
令和5年度実績	307,237	人

自己評価	理　由
A	入館者数は前年度から5.2%増加した。研修室が16.8%、学習室が13.6%と増加率が高く、研修や学習の場としても利用されている。学校からの実習・見学受入は75.6%増加し、学校教育の支援の場としても評価されている。

委員意見

（５） 子どもが本に親しむ機会の充実

評価指標

・**子ども室貸出冊数**

令和7年度実績	153,566	冊
令和6年度実績	152,559	冊
令和5年度実績	159,378	冊

自己評価	理　由
B	少子化がすすむ中ではあるが、子ども室貸出冊数は前年度から0.7%増加した。子ども室のおはなし会の参加人数も前年度の1,707人から1,751人に2.5%増加したところであり、コロナ前の平成30年度の1,501人と比較しても上回っている。

委員意見

（６） 県内図書館及び関係者への支援と連携

評価指標

・**協力貸出冊数**

令和7年度実績	17,000	冊
令和6年度実績	17,217	冊
令和5年度実績	19,186	冊

自己評価	理　由
B	システムを利用した予約および週1回の配送により、資料の協力貸出を行った。協力貸出冊数は前年度に比べて1.3%減少したものの、市町村立図書館等で受け取り可能なインターネット予約の件数が大幅に伸びる中で、前年度並みの数値を維持している。また、協力貸出の配送便を活用して、県内各図書館間の相互貸借資料の配送が活発に行われている。

委員意見

（７） 社会教育の推進による多様な学びを支える環境づくり

評価指標

・**生涯学習・社会教育に関する研修・講座受講者の満足度**

令和7年度実績	96.0	%
令和6年度実績	95.7	%
令和5年度実績	94.2	%

自己評価	理　由
A	令和7年度は、生涯学習・社会教育に関する計67回の研修・講座を開催した。受講者一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな企画・運営に努めた結果、受講者満足度は前年度から0.3ポイント増加した。すでに高い水準にあった満足度をさらに向上させ、高水準での安定維持を達成している。

委員意見

文部科学省委託事業

資料3

令和8年度図書館地区別研修【九州・沖縄地区】



図書館地区別研修は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の規定に基づき実施するもので、情報化の進展など図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を行い図書館における中堅の司書としての力量を高めることを目的とする。

期日　令和9年1月20日（水）・21日（木）・22日（金）

会場　大分県立図書館　2階視聴覚ホール

主催　文部科学省・大分県

【 開 催 要 項(素案) 】

1 主催
文部科学省、大分県

2 主管
大分県立図書館

3 期日
令和９年１月20日(水)～22日(金)

4 会場
大分県立図書館　２階視聴覚ホール、 １階第１～６研修室
(〒870－0008　大分県大分市王子西町14番１号)

5 参加対象者
(１)図書館法第２条に規定する図書館に勤務する司書で、勤務年数が概ね３年以上の者。
もしくは研修テーマに関する業務に従事している者。
(２)上記(１)と同等の職務を行うと主催者が認めた者。

6 受講方法
会場での集会型(会場参加)による受講とする。ただし、講師の許諾が得られた講義については令和９年１月25日(月)から動画(オンデマンド)配信を行う。配信URLは別途通知。

7 定員
会場参加の定員は、部分受講者を含め100名程度とする。応募多数の場合は、終了通知取得を目的とする者を優先し、地域や所属による偏りがないよう調整の上、決定する。

8 修了通知
研修日程の概ね5分の4以上を受講し、業務の改善提案・活用方法(研修方法、研修成果を踏まえた提案等)について、研修終了後２週間以内にレポート(1,200字程度)を提出した者に修了通知が授与される。後日配信の動画視聴を含む受講により修了通知を取得しようとする場合は、当該動画視聴について所属長による証明書を別途提出すること。なお、証明書様式については、該当の所属へ後日送付する。

(１)レポート提出期限:令和９年２月５日(金)
(２)レポート提出先・方法:大分県立図書館・原則eメールにより提出
(提出先メールアドレスは別途通知)

9 研修日程

	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1日目 1月20日(水)	受付 9:30~10:20		開講式 行政説明 10:20~11:30 (70分)	昼休憩 11:30~12:40 (70分)	基調講演 「図書館のバリアフリー」 12:40~14:10 (90分)	休憩 15分	講義1 「やさしい日本語」 14:25~15:55 (90分)	休憩 15分	演習 「やさしい日本語」 16:10~17:10 (60分)
2日目 1月21日(木)	シンポジウム 「電子書籍の現在」 9:30~11:30 (120分)			昼休憩 11:30~12:40 (70分)	講義２ 「AIと図書館サービス」 12:40~14:10 (90分)	休憩 20分	講義３ 豊の国情報ライブラリ施設見学 公文書館・先哲資料館・県立図書館 14:30~16:30 (120分)		
3日目 1月22日(金)	講義4 おじいさんの杜 9:30~10：30 (60分)	休憩 20分	講義5 公文書館と先哲資料館と図書館の連携 10:50~11:50 (60分)	昼休憩 11:50~13:00 (70分)	講義6~10 県内公立図書館（４）、県立図書館の取組 13:00~15:20 (140分)		休憩 20分	閉講式 15:40 ~ 16:00	

10　研修内容

	研　修　名		研　修　内　容	講　師
1日目	基調講演	図書館のバリアフリー	障がいや環境等に関わらず誰もが読書を楽しめるインクルーシブな読書環境の実現に向け、読書バリアフリーの視点に基づいた図書館サービスのあり方についての講演。	青山学院大学 コミュニティ人間科学部 教授　野口　武悟　氏
	講義1 演習	やさしい日本語	図書館等の公共施設における「やさしい日本語」の活用の意義と実際の活用方法についての講義と実践的な演習。	立命館アジア太平洋大学 言語教育センター 教授　本田　明子　氏
2日目	シンポジウム	電子書籍の現在	公立図書館における非来館型サービスおよびアクセシブルな資料提供として期待される電子書籍サービスについて、その導入状況やサービス内容を概観するとともに、導入・普及に向けた課題や有効な活用方法等について、サービス提供事業者を交えたパネルディスカッション形式での情報共有。	（株）未来の図書館研究所 研究理事　磯部　ゆき江　氏 （登壇企業：TRC、紀伊国屋書店、メディアドゥ）
	講義２	ＡＩと図書館サービス	生成ＡＩをはじめ進化を続ける人工知能の技術動向を踏まえ、これからの図書館サービスのあり方や新たな可能性について、最新の実践知見を交えての講義。	青山学院大学 教育人間科学部教育学科 教授　野末　俊比古　氏
	講義３	豊の国情報ライブラリ施設見学	地域資料の収集・保存・活用の取組について学ぶとともに各館のバックヤードを見学し、資料保存や運用の実際を理解する。	大分県公文書館 職員 大分県立先哲史料館 職員 大分県立図書館 職員
3日目	講義4	“おじいさんの杜”の歩みと地域における児童サービス	全国的にも稀少な私立児童図書館「おじいさんの杜」における４０年間にわたる子どもの読書活動推進の実践を通じ地域に根ざした児童サービスのあり方や今後の展望についての講義。	おじいさんの杜 館長　高橋　伸子　氏
	講義5	公文書館及び先哲史料館と図書館の連携	地域の歴史や文化を継承する郷土・歴史資料の収集・保存・提供に努める三館の取組と、デジタル時代に対応した協働プラットフォーム「おおいたデジタル資料室」の活用事例についての講義。	大分県公文書館 職員 大分県立先哲史料館 職員 大分県立図書館 職員
	講義 ６～10	県内市立図書館（4館）、県立図書館の取組	県内各市立図書館や県立図書館の特徴的な取り組みを学び今後の図書館の在り方について考える	各図書館職員

11　参加申込

（1）参加方法　申込専用フォームよりお申し込みください。
URL（https://　　）

（2）申込期限　令和8年11月〇日（〇）まで

（3）決定通知　令和8年11月末

二次元コード

12　その他

（1）宿泊の手配・予約等は各自で行ってください。

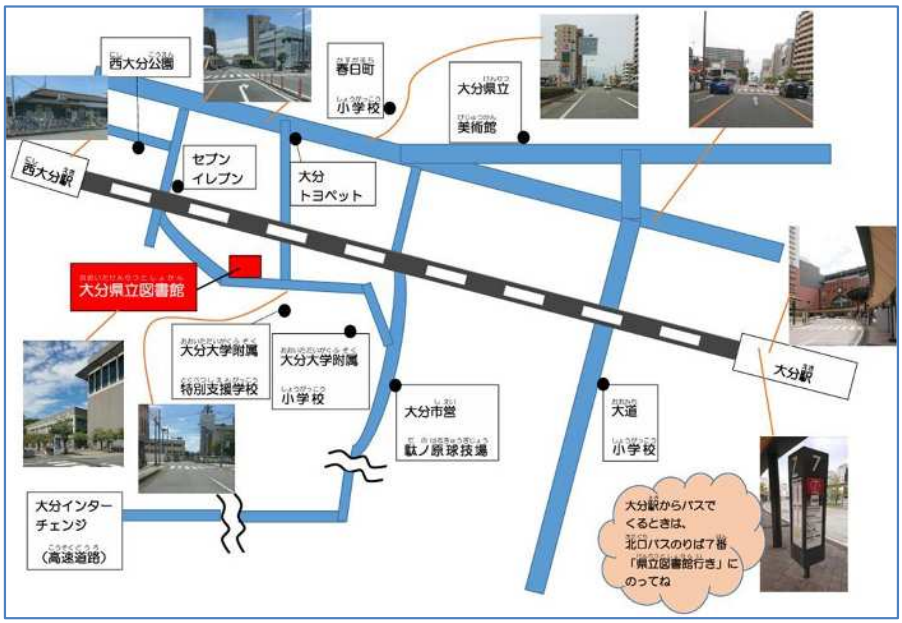
（2）会場へは、できるだけ公共交通機関を御利用ください。大分県立図書館の駐車場が満車の際は、周辺の有料駐車場を御利用ください。

（3）自然災害等の諸事情により、運営が困難と認められる場合は、研修の一部、あるいはすべての開催・運営方法を変更又は中止します。
その際は、各所属館にメールで連絡します。予め御了承ください。

13　問合せ

大分県立図書館　総務企画課
〒870-0008　大分県大分市王子西町14-1
ＴＥＬ　097-506-9977（代表）
ＦＡＸ　097-506-9985
E-mail　a31501@pref.oita.lg.jp

14　会場案内



【大分空港から】
バ　ス　約72分
大分空港エアライナー乗り場
大分駅北口バス乗り場7番から
「大分駅前」乗車
「県立図書館前」下車）

【大分インターチェンジから】
自動車　約10分（約4km）
東九州自動車道

【JR大分駅から】
徒　歩　約25分（約1.8km）
タクシー　約8分
バ　ス　約19分
大分駅北口バス乗場7番から
「県立図書館行き」乗車
「県立図書館前」下車）

【JR西大分駅から】
徒　歩　約17分（約1.1km）
タクシー　約5分

＊なるべく公共交通機関でお越しください。

15　会場図

大分県立図書館　2階



1階のエントランスホールの階段を上り
2階の視聴覚ホールへお進みください。